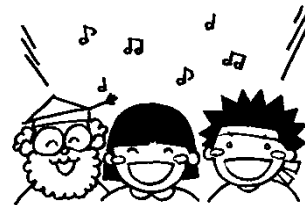


9月

はつらの 尾久六っ子!



4年生

下田臨海学園に行ってきました!

7月21日(木)~23日(土)に、二泊三日の下田臨海学園に行きました。当日まで雨の心配をしましたが、無事に二日間海に入ることができ、充実した学園での生活を過ごすことができました。



1日目の海は少し水温が低めだったこととプールとは違う海水の塩辛さにびっくりしたようでしたが、すぐに慣れ、水かけっこやタッチゲームをしたり先生方に海に投げてもらったりして楽しく過ごしました。2日目は、午前中は雨が降っていたため室内レクや美味しいスイカを食べて過ごし、午後は海に入りました。夜のレクも大変盛り上がりました。3日目は潮だまりにいる生き物たちと磯遊びをしました。初めての宿泊行事に緊張している子もいましたが、みんな一生懸命に係の仕事をし、下田の海としっかりと戯れ、帰る日には「また下田臨海学園に行きたい!」とつぶやく子が多かったです。



図書

勇者クラスを目指そう!!

学校司書 中野香織

今年度から読書賞が変わりましたが、みんなよく頑張っていて取り組んでいました。読書賞対象のトレジャー本は国語教科書掲載本や荒川区推薦図書から選書されています。最初は手に取る気があまりしないなど感じる本も中にはあるかも知れません。しかし、辛抱強く読み進める内にいつの間にか物語に引き込まれて夢中になった経験はありませんか。長い物語を初めて読破できると自信につながり、次々と読めるようになります。新しい本との出会い、幅広い読書体験は豊かな心を育みます。そんな願いのこもった素敵なトレジャー本をたくさん読んで、2学期も読書賞を目指しましょう。



給食

食育を通して

栄養士 佐々木 冬萌

こんにちは、栄養士の佐々木です。今年度は1学期に食育の一貫として、体験活動を実施しました。5月は、2年生が「さやえんどうのさやむき体験」3年生が「そらまめのさやむき体験」、7月は1年生が「とうもろこしの皮むき体験」をそれぞれ行いました。どの食材もその日の給食に登場しました。「尾久六小のみんなが食べるから、頑張って!」と言うと、どの学年の児童もはりきって取り組んでいました。給食時間は、みなさん嬉しそうに食べていました。また、本当は豆が苦手だけど、今日は頑張っって食べていたという子もいました。体験活動を通して、少しでも食への関心や食事に対する感謝の心が育くまれるといいなと思います。



低学年 算数

間違っても大丈夫

算数少人数 松本万里子

少人数学習が低学年でも進められ、一人一人にあった指導ができるようになりました。つまずいている時困っている時は、なるべくそばに寄って声をかけます。ところが教師が近づくと書いたものを手で隠したり消しゴムで消してしまったりする児童がいます。きっと個別に注意されるのが嫌なのでしょう、あるいは自信がないのかもしれませんが。低学年では難しい見直しやり直しの作業を教師と一緒にできるよい機会なのに残念です。やる気のない不注意な失敗は叱られても仕方がないけれど、わからない時迷っている時の失敗は許して認めてあげたいと思います。授業ではそのような時「間違っても大丈夫だよ」「次からは先生に見せてね」と言って励まします。子どもにとってつらいことでは、間違ったり失敗したりすることは大切な経験です。勇気をもってそれを認め、次のステップに上っていくように期待します。ご家庭ではなかなか難しいでしょうが心に留めておいてください。

音楽

音楽で育てる「想像力・創造力」

音楽 井上奈々

音楽の学習では、「想像力・創造力」を伸ばしていきたいと考えています。音や音楽という、目に見えないものから気持ちや様子を想像し、よさを感じる力は、友達や周りの人の気持ちを思いやることにもつながります。また、楽譜どおりに演奏するだけでなく「どうやって歌ったら／演奏したら／つくったら、明るい感じが伝わるかな？」と試行錯誤しながら創造的に音楽表現することは、他の教科や生活の中でも生かせる考え方です。1学期に6年生は「ラバース コンチェルト」を4つのパートに分け、役割を生かした合奏をする学習に取り組みました。グループで楽器の音色や組み合わせを工夫したり、中心となる主旋律がしっかりひびくように、全体のバランスを聴き合いながら練習したりしました。最後は発表し合い、各クラスの代表の演奏を録音してお昼の放送で流したところ、「いい演奏だね！」という感想が聞こえてきました。2学期も、いろいろな学年で想像力、創造力を働かせた学習の成果を紹介し、全校で「いいね！」を共有していきたいと思っています。

図工

展覧会へ向けて

図工 武田恵美

図工の学習では、題材に合わせていろいろな鑑賞活動を取り入れながら、子供たちの感性を伸ばしていきたいと考えています。子供たちはつくるのが大好きで、夢中になって自分の表現を楽しんでいますが、それと同じように、がんばった成果を発表することで、友達からかけられる言葉に喜ぶ姿が多く見られます。同時に、友達の作品を見ることで刺激を受け、さらなる表現へとつなげていくことを図工専科として期待して表現活動と同じように鑑賞活動を大切にしています。本年度は秋に展覧会があります。他の行事のように、その時に表現を発表するわけではありませんが、ミニ学芸員として、保護者や地域の方々へ作品解説をする鑑賞活動を計画しています。ぜひご参観の際には子供たちと一緒に見ることの楽しさを味わっていただきたいと思っています。ご協力よろしくお願ひいたします。



保健

実は知らないからだのこと

養護教諭 五十嵐順子

子どもたちが「頭が痛い・気持ち悪い」と保健室に来た時は、ほとんど全員熱を測りますが、「平熱は何度だっけ？」と聞くと、かなりの子が「えーわかんない」「平熱ってなあに？」と答えます。「ほらプールカードに書くてしょ。元気な時の熱だよ」と言っても、「…？」の子もいます。またおなか痛い子という子に「うんちは出た？下痢してない？」と聞くと「う～んいつ出たっけ…？」今は洋式トイレになってしまったので、自分の便の状態を見ることが前より難しいかもしれません。もう一つ、上履きを借りて来た子に足のサイズを聞くと「16cm!」とか「24くらい?(2年生)」などすごく小さかったり、大きすぎたりで思わず「ウソだあ～」と笑ってしまいます。子どもたちも何かと忙しい毎日。あまり意識していないことかもしれませんが、でもほんの小さなことでも自分のからだのことをよく知り、健康や成長を感じることで、自分や周りの人のからだを大切にするにつなげる気がします。健康診断や保健室でのやり取りがそんなひとときになればと願っています。